









SWフェンス

耕作地を邪魔しないネットフェンス

弊社考案のサポート&ワイヤー式 控え柱・ネカセが不要のため、耕作地を邪魔することがありません。控え柱を設置するた めの整地作業も不要です。支柱以外には打設するものがなく、控え柱式と比べて作業労力、副資材費(控え柱・ネカセなど) を軽減することができます。



▶ POINT 支柱以外の打設は不要

フェンスと支柱自体にサポートワイヤーを設置するので、山間部など障害物の多い場 所でも、控え柱を打つための整地作業が不要です。耕作地を削ることはありません。



▶ POINT メンテナンスの緊張作業も簡単に

経年変化に応じて簡単にまわすだけで張る・緩むの細かい調整が可能です。



▶POINT 緊張の緩みを防止

勾配変化点・端部・コーナー部のフェンスにサポート(胴縁)・ワイヤーを張って、緊 張による支柱の歪みをしっかり防止します。

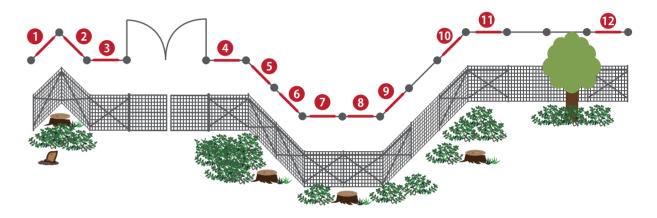
ネットフェンス SW(サポート&ワイヤー) 式と控え柱式の違い

▶ SW フェンス (サポート&ワイヤー式)

サポート&ワイヤーは端部・勾配変化点 (開始・終了地点のみ)・コーナー部・門扉部に取り付けます。

下のイラストの ● がサポート&ワイヤーを取る付ける箇所です。

連続するコーナーや勾配変化点が多い場所では部材を兼用するので、下の控え柱式と比べて施工性が高く、部材費も低く抑え ることが可能です。

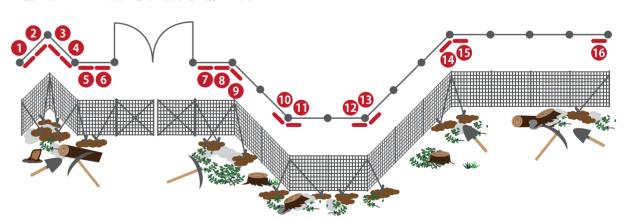


▶ 控え柱式 ロールネットフェンス

控え柱式は、控え柱とネカセを端部・勾配変化点・コーナー部・門扉に打設します。

下のイラスト ● が控え柱・ネカセを打設する箇所です。

- 控え柱・ネカセの設置箇所も障害物を取り除くなどの整地作業が必要です。
- 控え柱・ネカセの設置場所が耕作地を削ります。



ネットフェンス(巻き網)は、緊張を必要とする構造のため地形や地盤、コーナー部、角度等によって端々で支柱の補強 (SW フェンス:サポートワイヤー控え柱式:控え柱、ネカセ)などの副資材が必要です。また、支柱等も緊張に耐えるこ とができる強度の高いものが必要です。

設置数量(材料費)の算出には、緻密な現場実測やネットフェンスにしっかり緊張をかける(張る)ため、緊張具や重機、 熟練技術が必要です。技術者以外の方でも設置は可能ですが、施工労力を要し、適切に施工しないと仕上がりや経年によっ て効果が失われます。